

一般社団法人 勝浦市シルバー人材センター

あじさい

第32号
2019年1月



会員親睦旅行（鎌倉 鶴岡八幡宮）

海と緑の 自然あふれるこの郷土
守り育てて 次世代へ

新年のご挨拶



会長 美松 己

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年の総会におきまして、前高梨会長の後任として会長職を受け継ぎ、新年を皆様と迎えることができました。

これもひとえに会員皆様の御支援、ご協力の賜物と心から感謝を申し上げますと共に厚く御礼を申し上げます。

さて、超高齢社会を迎え、定年の引き上げ、継続雇用制度の導入、高齢者の再就職促進などもあり、全国的にもシルバー人材センターの会員数は毎年減少している状況にあります。

ここ数年百五十人前後で推移していますが、会員数の拡大が課題となっており、就業の早めな対応が難しくなっております。

一方、高齢者人口が増加する中で、現役世代の下支え、人手不足の分野での労働力確保に貢献するシルバー人材センターに対する地域社会の期待は一層大きくなっております。

多様な社会情勢の変化と急速な人口高齢化の中で、当センターの果たす役割を認識しながら、会員の確保、安全就業への取組みや新たな就業の場の確保など課題も少なくありませんが、今年度も積極的に事業に取り組む所存でございますので、会員の皆様のご理解、ご協力を今まで以上にお願い申し上げます。

結びに、本年も健康に留意され、安全就業に心掛けていただき、笑顔で楽しい就業ができますと共に、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



長寿 市 勝浦 男 猿田

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素は福祉施策をはじめ、市政全般にわたり格別のご理解とご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

勝浦市シルバー人材センターにおかれましては、活力ある高齢者社会を支える地域の中核的な組織として、就業を通じて高齢者の健康維持や社会参加に大いに寄与さ

れるとともに、地域社会の活性化、福祉の向上にも貢献していただきまして深く感謝申し上げます。

さて、全国的に人口減少と少子高齢化が急速に進み、地域における生活環境も大きく変化し、労働力人口も減少していくことが危惧されているなか、シルバー世代が「生涯現役」として活躍できる働き方が推奨されており、シルバー人材センターの果たす役割はこれから益々重要なものになると考えております。

皆様におかれましては、長年にわたり培われた知識や経験、技能を活かしながら、シルバー人材センター設立の理念であります「自主・自立・共働・共助」のもと、就業開拓や就業機会の拡充に積極的に取り組んでいただき、働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献されますことを大いに期待しております。

市といたしましても、誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会の実現を目指してまいりますので皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、勝浦市シルバー人材センターの益々の発展と会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

かつら魅力市に参加して

地域の魅力の発信をテーマとした「かつら魅力市」が十一月四日（日）に開催され、今回は国際武道大学をメイン会場として黒潮祭（大学祭）とB1グランプリとのコラボによるイベントとなりました。

当日は約八十店舗の出店があり、県内の産業団体、勝浦タンメン船団とB1グランプリ3団体の出展、勝浦市と友好都市のコーナー、ステージパフォーマンスなど盛大で賑やかに実施されました。

シルバー人材センターは、会長、総務・企画部会員及び事務局の六名が参加して、啓発と地域活性化の取り組みとして、ポケットティッシュ、会員募集チラシを配付しPR活動を図りました。また、前高梨会長を始めとする会員の方々も立ち寄っていただきました。有意義な一日となりました。

当日はお昼頃から小雨が降りだし、終了する頃は本降りとなってテントの片付け撤収作業に苦慮しましたが、参加して下さった会員の皆様のお陰で迅速に終えることができました。一日お疲れ様でした。

今回の出展により利用者や入会

会員の増加に繋がることを期待したいと思います。



新しい臨時職員の感想・思い

昨年の八月末から臨時職員になりました菅原ふみ子さんに、センターの事務に就いた感想・思いを聞いてみました。

「一歩前へ」

シルバーの年齢になり就職をあきらめていた私に、今年の夏、一本の電話が入りました。

なんと「勝浦市シルバー人材センター」からで臨時職員を探しているとのことでした。

私は二つ返事で面接を受ける約束をしました。

でも「シルバー人材センターと

は」？ あることは知っていましたが、どんな組織で、どんな仕事をしていて、会員は何人？ お客様はどれ位？ 何もわからない状態で、事務として仕事を始めましたが、毎日が驚きの連続でした。

午前中は電話対応に追われ、お客様からの仕事の依頼、その依頼をパソコンに入力、又、会員の方々の就業報告を仕事場所別にパソコンから出力など、目が回るような毎日が流れています。

公共の仕事の時は写真を撮り、完了したらプリントアウトする。この繰り返しですが、一番の問題は、会員の方々の名前と顔が一致しないことです。

何度も会っているのに覚えられない自分に腹が立つ思いをします。でもこの年齢になって、今まで経験したことのない仕事に就くことができたうれしさと、古くならかけた脳ミソを一生懸命、回転寿司のように動かしていただける喜びは大切なことと感じています。

「楽しくなきや仕事じゃない」と若い頃からの思いは今でも健在です。

一日も早く「シルバー人材センター」の仕事に溶け込む努力をします。皆様、温かい目でお守りいただき、今後もよろしくお願ひ致します。

親睦旅行

親睦旅行 歴史散策・景勝地観光

古都鎌倉・江の島を巡る親睦旅行を11月22日に実施し、34名が参加しました。

前夜の大雨の影響で興津坂が通行止めになり、各々の乗車場所まで待っていた参加者の方々を寒い中お待たせしましたが、無事に全員がバスに乗車し、圏央道市原鶴舞インターからアクアラインを経由して鎌倉に到着しました。

当日は朝から小雨が降っていて、あいにくの天候でしたが、鎌倉で下車した時は傘も必要なく、まず参加者全員で記念写真を撮影した後、鎌倉の中心部に位置し、鎌倉幕府から篤く信仰された鶴岡八幡宮の散策参拝をしました。

大臣山を背負って堂々とたたくむ姿は古くから鎌倉の象徴であったことを感じさせました。

鎌倉を出発してお腹も空いてきたところで、全員でゆっくりと昼食を食べた後、次の目的地の江の島に向かいました。

江の島に到着した時は雨が降っていましたが、参加者の中には何十年ぶりで江の島を訪れたということ、昔の思い出に浸っている方もいました。

「江の島」は、古くから参詣・

遊山の地として、現在はオシャレなお店も多くある観光地として人気のスポットで、多くの観光客が訪れていました。

最後に訪れた寒川神社は、現在も「八方除けの神社」として有名で、多くの参拝者が訪れ、正月の三が日には延べ四十万人が初詣に訪れるという大社の風格に感動している参加者もいました。

帰路の車中ではカラオケ大会のように大いに盛り上がり、思い出に残る楽しい親睦旅行でした。



皆で楽しい昼食

安全パトロールの実施

安全パトロールの実施について

安全・適正就業部会及び安全委員会合同による安全パトロールを実施しました。昨年は2日間、就業現場を視察しました。

・8月23日(木) 若潮台団地(草刈り作業)

・11月14日(水) 勝浦ダム(草刈り作業)

鈴木安全・適正就業部会長から作業中における安全対策について注意喚起しました。

勝浦ダム作業現場は、特に急斜面が多いため、滑りにくい靴を履き、刈払機の安全ガードの装着などを心掛けるよう指導しました。



ちょっと一休み

派遣就業教育訓練 対象者技能講習

千葉県シルバー人材センター連合会主催により、労働者派遣事業に登録している会員の皆さんを対象とした教育訓練技能講習を実施しました。

開催日 12月12日(水)

場所 勝浦市役所 4階大会議室

教育訓練内容 救急救命技能講習

参加者 勝浦11人 茂原1人

大網白里3人

日本赤十字社の指導員から救急救命関係の基礎技能やAEDの使い方学びました。



整然と並んで作業しています。

事務局だより

高齢者マークを表示しましょう!!

会員の皆さんの交通安全対策の一つとして、就業途上などで普通自動車を運転するときの「高齢者マークの表示」について特集しました。

「高齢者マーク（高齢運転者標識）」とは!!

日本の道路交通法に基づく標識の一つで、70歳以上の運転者が運転する普通自動車に表示するものです。

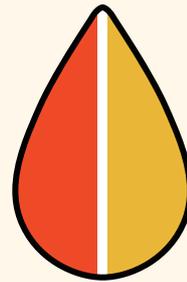
形状は「四つ葉のクローバー」をモチーフに「四つ葉」に相当する部分をそれぞれ4色に塗り分けています。

高齢者マークは幸せの象徴である四つ葉に若々しさを表す黄緑色、豊かな人生経験を表す黄色と橙色の4色を使って活発な高齢者をイメージしています。

高齢者マークは、車体の前面と後面の見やすい位置（地上から0.4m以上1.2m以下）に表示します。



新デザイン



旧デザイン

旧デザインの高齢者マークは当分の間、使用することができます。

70歳以上75歳未満の者は、「加齢に伴って生ずる身体の機能の低下が自動車の運転に影響を及ぼすおそれがある」場合は、この標識（高齢者マーク）をつけて普通自動車を運転するように努めなければならないと道路交通法は定めています。

また、75歳以上の者は、標識（高齢者マーク）の表示義務の規定がありますが、当分の間、適用しないとされていますので、70歳以上75歳未満の者と同様に表示は努力義務となっています。

現在、高齢者マークの表示は努力義務であり、表示義務及び違反者に対する罰則はありません。

「高齢者マークを表示する利点」

周囲の運転者はこの高齢者マークを付けた車両に対しては、危険の防止のため、やむを得ない場合を除き、側方に幅寄せや割り込み等の行為は禁止されています。

高齢者マークは高齢者運転手であることを知らせ、他の運転手からの危険な行為を受けないためにも効果的なマークです。危険運転に対する抑止力にもつながりますので、未然に事故を防止するため積極的に表示するようにしましょう。

センターの動き

平成三十年

- 七月
 - 県連合会安全・適正就業推進員研修会 (3日)
 - 第2回会報編集委員会 (13日)
 - 全シ協適正就業担当者会議 (17日)
 - 第5回理事会 (23日)
 - 市議会議長に支援要望活動 (24日)
 - 勝浦市長に支援要望活動 (25日)
- 八月
 - 会報「あじさい」第31号発行
 - 安全パトロール (23日) 若潮台団地
- 九月
 - 全シ協新任事務局長研修会 (13日・14日)
 - 県連合会派遣事業特別指導 (21日)
 - 第6回理事会 (26日)
 - 第2回総務・企画部会 (26日)
- 十月
 - 県連合会第一回事務局長会議 (3日)
 - 会計・経理担当職員研修会 (12日)
 - 第一回上総地域協議会 (17日)
 - 第3回会報編集委員会 (19日)
- 十一月
 - かつうら魅力市参加 (4日)
 - 第一回派遣事業運営協議会 (8日)
 - 全シ協新任会長研修会 (12日・13日)
 - 安全パトロール (14日) 勝浦ダム
 - 親睦旅行 (22日)
 - 第7回理事会 (28日)

会員募集

会員を募集しています。

シルバー人材センターでは、会員を募集しています。近所の方やお友達などに積極的に声をかけて、勧誘に努めて下さるようお願いいたします。

市内在住で六十歳以上の方が対象です。男女を問いませんので、健康で働く意欲のある方の入会を待ちしています。

センターでは入会申し込みを随時受け付けています。

入会会員紹介

よろしくお願ひします。

- (平成三十年六月～十一月)
- 大森 サダ子 (興津一班)
 - 秋庭 吉幸 (勝浦一班)
 - 間野 剛 (勝浦一班)
 - 桐川 三成 (勝浦一班)
 - 末吉 久夫 (総野三班)
 - 鈴木 修三 (上野二班)
 - 片倉 收一 (総野一班)
 - 片倉 喜吏 (総野一班)
- (敬称略)

編集後記

昨年は、集中豪雨・台風・大地震の発生による被害や異常気象など平年から大きくかけ離れた天候により、社会的に大きな影響をもたらした年でした。

東日本の月平均気温は七月として統計開始以来

第一位となった年であったそうですので、会員の皆さんも猛暑の中、大変ご苦労なされたことと思います。

今年には平成から新たな年号になる年であり、

○会員数の推移

年度	年度末会員数
15	210
16	189
17	166
18	152
19	151
20	153
21	164
22	159
23	153
24	147
25	150
26	153
27	151
28	152
29	152
30 (11月末)	148



会報編集委員会

委員長
副委員長
委員

- 積田 行雄
- 小関 力
- 野村 知里
- 関 茂子
- 加藤せつ子
- 酒井江美子
- 菅根 光弘

干支は亥年(いのしし)です。市内では、いのししが農作物を食い荒らして迷惑な動物ですが、干支では「健康面」にも縁起が良い動物とされていて、亥年は無病息災の意味もある年と言われています。だからと言って無理はしないようにしましょう。今年には事故もないよう安全就業に心掛けていただき、また、インフルエンザのシーズンでもありますので、普段から体調に気を配り、健康管理に十分努めましょう。